

2020年12月21日
事務連絡

各都道府県中小企業団体中央会
ご担当各位

全国中小企業団体中央会

周知依頼について

平素より、大変お世話になっております。

この度、経済産業省製造産業局を通じて、静岡県中央会会員組合である浜松鉄工機械工業協同組合所属の組合員企業が中心となり、外国人技能実習制度における金属バフ研磨作業の職種追加を念頭に、(仮)日本金属バフ研磨連絡会を立ちあげることが検討されている旨の連絡がありました。

今後、当該連絡会の設置に向けて、幅広く関係者と連絡・調整を進めていく予定にしているとのこと、ついては、本件について、前広に傘下の団体・企業等に周知いただくとともに、関係のある方は、以下の連絡先までお問い合わせ下さるよう、お伝え頂きますと幸いです。よろしく申し上げます。

【ご案内とお問い合わせ先】

静岡県中小企業団体中央会

浜松鉄工機械工業協同組合 <https://www.hmtk.or.jp/>

(仮)日本金属バフ研磨連絡会 別添のパンフレット

(問い合わせ専用フォーム) <https://www.hmtk.or.jp/jmb/sfm/>

(電話番号) 053-463-2101

技能実習生 試験実施機関 認定申請中！

(仮) 日本金属バフ研磨連絡会

実習生への技能伝承で、国際貢献と企業継続を応援します



(仮) 日本金属バフ研磨連絡会組成の背景

日本は、他国に比べて急速に少子高齢化が進展する中、製造工程に欠かせない、金属バフ研磨仕上げ工程の技能伝承に不安を感じている企業が多くあります。技能検定の、金属バフ研磨仕上げ職種は、昭和60年を開設されましたが、受験者の減少に伴い、平成23年には廃止となりました。しかし必要な技能として、あらゆる業種のものづくり工程で作業者が従事しているのも事実としてあります。そこで、周辺業務ではなく必須業務として、金属バフ研磨仕上げ職種の外国人技能実習評価試験を確立させ、試験実施機関を組成し、技能実習制度を導入させたい。また、日本のバフ技術を他国へ伝承することは、国際的にみてもたいへん意義があり、外国人技能実習制度の趣旨にもかなうものといえます。

目的①

ものづくり工程に欠かせない、金属バフ仕上げ工程の、外国人への人材育成と技能伝承を行い、帰国後も、安全で高品質なものづくりの実現。

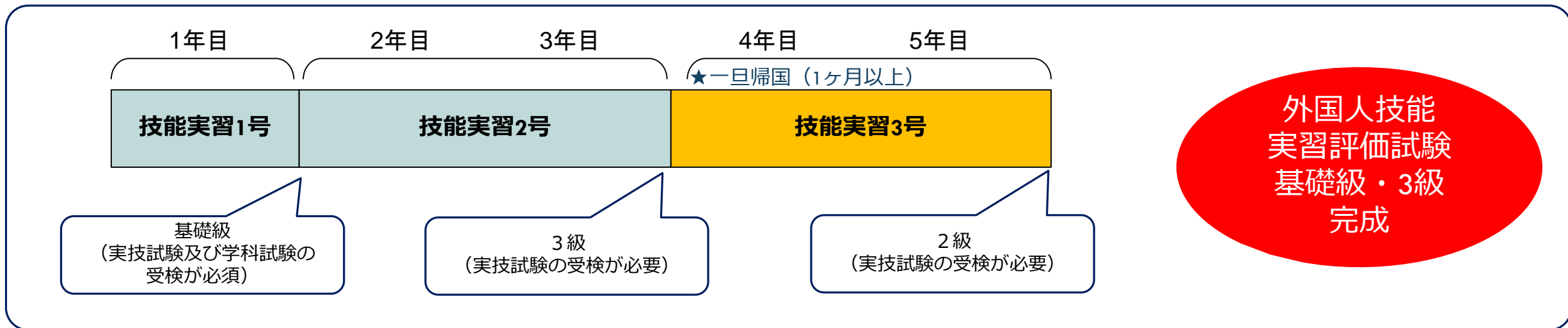
目的②

人材不足や技能伝承に不安を抱える企業で、技能実習生を活用し、人材を育成しながら、企業と技能を継承させていく。

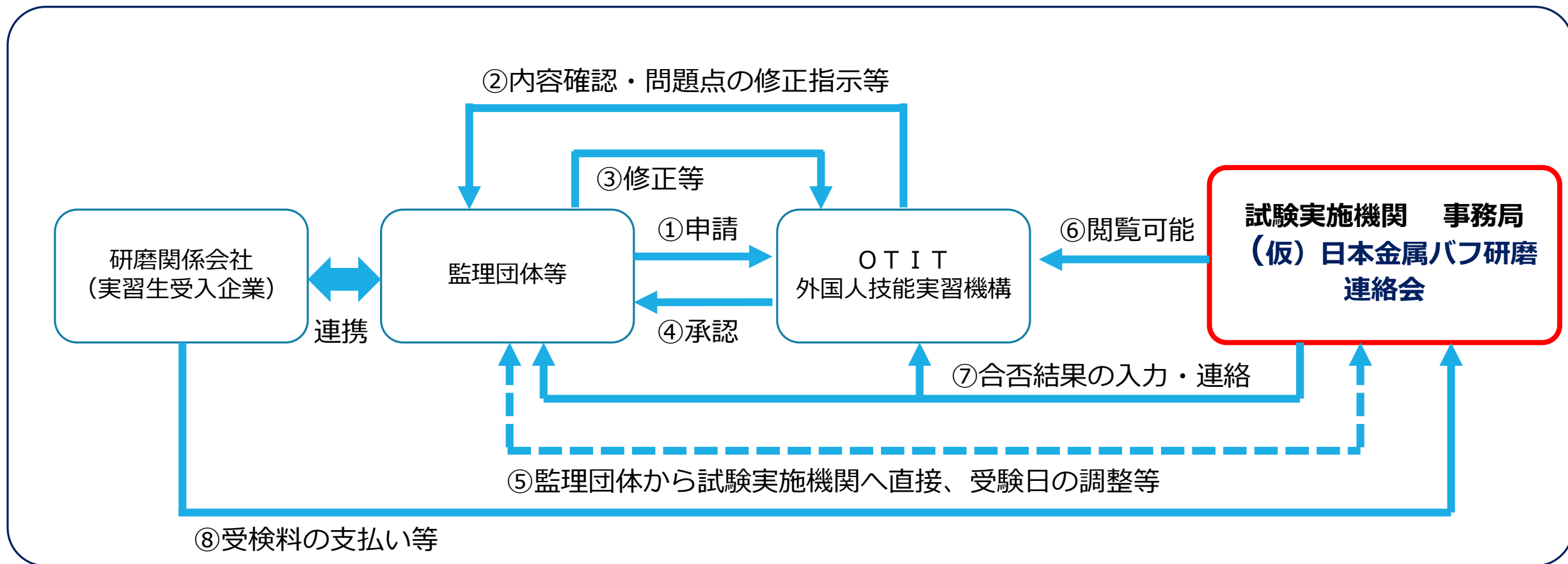
試験実施機関の認定へ

この団体は、業界内の情報交換を行い、営利を目的とする団体ではなく、専門的な知識を有し、試験業務を適正かつ確実に実施し、評価を公正に行い、適切な時期に全国で試験を実施可能にすることができる団体を確立することを推進しています。

技能実習制度の仕組み



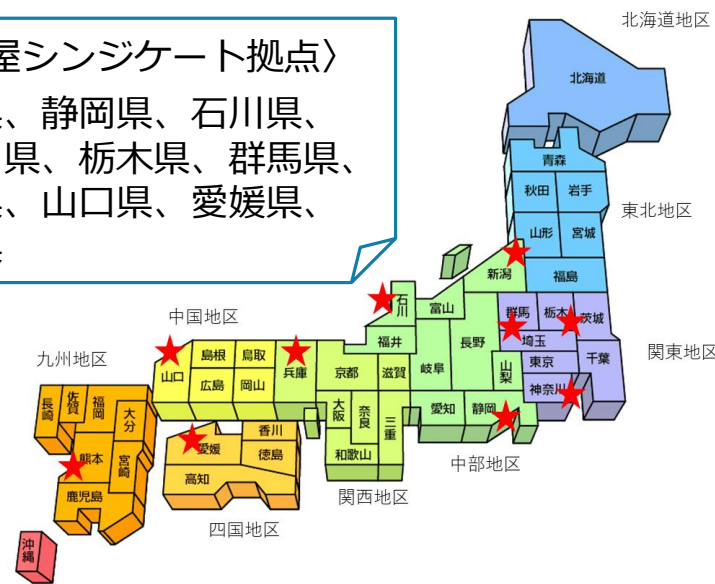
受験手続の流れ



試験実施機関について

厚生労働大臣認定の、社内検定制度を確立している、業界No.1の「磨き屋シンジケート」が、外国人技能実習評価試験の基礎級と3級を完成させました。検定評価者には、「磨き屋シンジケート」の検定員に委託します。磨き屋シンジケートは、全国各地に拠点があるので、どの地区でも、試験実施が可能となります。

〈磨き屋シンジケート拠点〉
新潟県、静岡県、石川県、神奈川県、栃木県、群馬県、兵庫県、山口県、愛媛県、熊本県



連絡会 会員募集

この連絡会は、国家技能検定を運用している職業能力開発協会のかわりとして、外国人技能実習評価試験が実施できる、業界団体の試験実施機関となる為、会員企業を募集しています。関係者の皆様のご理解、ご協力頂けますようお願い申し上げます。ご賛同いただける方のご連絡をお待ちしています。

〈（仮）日本金属バフ研磨連絡会に関するお問い合わせ〉

浜松鉄工機械工業協同組合 <https://www.hmtk.or.jp/>

（お問い合わせ専用フォーム） <https://www.hmtk.or.jp/jmb/sfm/>